

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	道路維持事業		担当課 【2】	建設管理課	
			評価者(担当者)	丸山 隆一	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①便利で快適なまちづくり			重点 施策【4】 <input type="checkbox"/> 該当
	主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備			
	施策区分	(2)生活道路網の整備			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 道路法 <input type="checkbox"/> その他の計画【             ]		年度予定	: 金額	千円【
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【         ] 款 8 項 2 目 2 細目 1				

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	道路管理者は、道路を常時良好に保つよう維持・修繕し、一般交通に支障をおよぼさないようにしなければならぬという責務を負っていることから、道路及びこれに付帯する施設の機能を維持する必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	道路利用者
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	道路利用者の安心・安全のため、玉名市道の維持管理・街路樹等の整備を行い、良好な交通環境を維持する。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】    【 H17 年度から】    【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【         ]
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【         ]
事務事業の具体的内容 【14】	磨耗・劣化し路面状況が悪化した道路の修繕や道路の除草作業など玉名市道の維持管理を行う。 ⇒ 事務事業を構成する細事業 【15】 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市道維持修繕事業</li> <li>② 市道除草業務委託事業</li> <li>③ 市道街路樹等整備業務委託事業</li> <li>④ 市道維持管理借上料事業</li> <li>⑤ 市道維持管理原材料支給事業</li> </ul>

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H23年度決算	H24年度決算	H25年度決算	H26年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	%			
		県支出金	%			
		起債	%			
		受益者負担				
		その他				
		一般財源	93,404	86,613	102,634	112,422
	【16】 小 計	93,404	86,613	102,634	112,422	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	2.70	2.95	2.40	2.40
		職員の年間平均給与額(千円)	5,685	5,610	5,610	5,610
【17】 小 計		15,366	16,788	13,658	13,658	
合 計		108,770	103,401	116,292	126,080	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 市道維持修繕事業	劣化等した道路の修繕を行う。	道路修繕箇所数	数	38	75	79	80
② 市道除草業務委託事業	委託により道路の除草作業を行う。	市道除草委託業務面積	m <sup>2</sup>	204,731	227,569	607,771	593,758
③ 市道街路樹等整備業務委託事業	委託により市道街路樹等の整備を行う。	街路樹等整備業務委託箇所	箇所	10	10	10	10
④ 市道維持管理借上料事業	生活道路を整備するものに対し、機械借上料を支給する。	借上料利用箇所	箇所	254	155	178	180
⑤ 市道維持管理原材料支給事業	生活道路を整備するものに対し、原材料を支給する。	原材料利用箇所	箇所	273	199	167	180

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 市道除草延長	除草を行った延長メートル数	km	36.6	36.6	36.6	59.3
2 市道街路樹等剪定延長	街路樹等剪定延長	km	4.5	4.5	4.5	4.5
			4.5	4.5	4.5	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	事業の廃止・休止をすることにより、事故等危険性が増加する。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	市道パトロール業務については、平成26年度より効率性の向上を図るためシルバー人材センターへ委託を行い、現状のまま継続する。
昨年からの見直し・改善状況【32】	市道等パトロール業務をシルバー人材センターに委託するための協議を行い、平成26年度から委託することとした。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	道路劣化が原因での事故が数件発生している。市道パトロール業務は、外部委託しパトロールの強化を図っていく。	評価責任者 三次 祐二
------------------	--	----------------